

# 大阪公立大学都市科学・防災研究センター 国際シンポジウム 東アジアのケアレジーム

## 子育て・教育・家事・ケア労働の視点から

参加費  
無料

会場・オンライン  
ハイブリッド開催

2024年12月1日(日)  
13:00～18:00

近年の東アジアに共通しているのは、少子高齢化による労働力の不足に加え、女性の就労や社会進出に伴うケアの担い手の不足など、いわゆる「ケアの危機」とも言われるような状況である。また、家族や地域コミュニティのケア機能の喪失に伴う子どもの貧困の深化、そしてヤングケアラーや子育てと介護の負担が重なることによるダブルケアラーの問題、学校現場の疲弊や子ども間の教育格差の拡大などに対する教育福祉への課題に関心が高まっている。こうした問題を共通に抱える東アジアの国や地域の現状を共有し、施策にかかわる比較研究を行っていくことが求められている。そこで、本国際シンポジウムを東アジアの状況認識を共有する場として設定し、「ケアの危機」に伴う分断の構造を捉え直し「ケアの再生」による共生社会の構築に向けた、本学におけるケアレジーム比較研究の一歩としたい。

### 会場

大阪公立大学杉本キャンパス  
高原記念館学友ホール

### お申込・お問合せ先

urec-joint\_office@ml.omu.ac.jp



時間		報告者	テーマ
13:00-13:05	開会の挨拶	重松孝昌 所長	
13:05-13:35	趣旨説明	全 泓奎	
13:35-14:05	フィリピン	高畑幸(静岡県立大学)	在日フィリピン人とケア労働—家族の中と外で
14:05-14:35	中国	楊慧敏(県立広島大学)	中国における子ども若者支援とケア
14:35-15:05	台湾	川瀬瑠美(広島文教大学)	台湾の教育福祉の担い手：輔導教師
15:05-15:15	休憩		
15:15-16:15 (日韓逐次通訳)	韓国	イ・ミヨン(ソウル市教育庁)	ソウル型教育福祉優先事業について
16:15-16:45	日本	幸地仁詩(堺市健康福祉局長寿支援課)	堺市におけるダブルケア支援体制について
16:45-17:15	日本	東根ちよ(大阪公立大学)	子育て支援と地域コミュニティの再編
17:15-17:20	休憩		
17:20-17:55	総合討論		
17:55-18:00	閉会の挨拶	野村恭代 副所長	